

六月定例会 七日から二十三日まで

雲南市になって3回目の定例会が開催されます。今回は3月の予算審議後の執行状況、補正予算などが審議されます。七日は提案説明一般質問は十三日からの予定です

雲南市民バス

同乗記

市民バスは合併前から合併の大きなメリットとして運行しようと言ったことで取り組まれてきました。

「病院に行くのが便利になった」

「学校に通うのに下宿する必要がなくなつた」「若い者に頼まんでも」

「喜びの声を聞いています。」

先日、始発地の吉田町農協前から

大東町行きに乗り込んでみました。

2時35分、平日の5便と言うこともあつて吉田から乗り込む人は

なし。今日は中間テストだから。と聞き、大東までお客様なしかないと心配しましたが、掛合町から高校生

数名、「こんにちは」といい挨拶。

鍋山、三刀屋駅とほつぽつ乗り込む人有り。平成病院玄関前をぐる

り。木次町バスセンターでは、賑やかに乗り込んできました。「どこまで行くの?」「加茂!」授産所に通

う皆さんでした。大東まで約一時間二〇分。奥様方に色々お話を聞くこともできて、有意義なバス体験タイムでした。

なかで気になることが少々。どこ行きか、どこを経由するのか? 次止まるの? と言つた情報が判らないことです。

早急に改善の必要があります。もう一点、大東の病院ですが、

吉田発一便で病院に行く受付が最後になり、いつも午前中後半の診察となり、午前に間に合わないこと。公平性の観点から受付時間を考慮いただけないか?。

土、日便は朝、昼二便ですが、もう少し増やしてもらえないか?。と言つた意見もありました。

いずれにしても改善の余地がありそうです。「改善と既得権」

利用者のご理解が必要です。

司馬遼太郎が歩いた道

吉田町 金屋子神社

加茂町・光明寺を後にして、

司馬氏は三刀屋川に沿って吉田村に向かいます。

途中「掛合町」で(ここが最後の町だ。とつばやき)、戦国の時代、この地を幾度も毛利軍が往来したのであろう。と思いを馳せながら、車を左折、吉田村へと向かいました。



より使いやすいように！
みんなの願いです。

司馬遼太郎が歩いた道

吉田町 金屋子神社

加茂町・光明寺を後にして、司馬氏は三刀屋川に沿って吉田村に向かいます。

途中「掛合町」で(ここが最後の町だ。とつばやき)、戦国の時代、この地を幾度も毛利軍が往来したのであろう。と思いを馳せながら、車を左折、吉田村へと向かいました。

鉄山師 筆頭頭取・田部家を訪れた司馬氏は、23代当主、

田部長右衛門朋之氏(元県知事)に面会。田部家の歴史と踏

鞆(たたら)についてお話を聞いています。(是非本文を)

「タタラはアラシゴトでしたよ。だからばくなんぞは、山賊の親玉みたいなもんで。と田

部氏は笑わずに言った。」

(原文)と書いています。

この後、司馬氏は田部氏と共に川尻の「金屋子神社」へ。

そして、引力を引きちぎるように急坂を登り、「菅谷高殿」

に向かいました。

金屋子さんと呼ばれるこの神社は田部家の金屋子信仰の

総本山的な神社として建立されたものです。元文5年(一七

四〇年)八代將軍・吉宗の頃に比田の金屋子神社から分霊

遷宮されたとあります。

「彫刻が悪くないでしょう」とゴム長を履いた 田部氏は神殿や門の彫刻を指さして言った。

田部氏ご推奨、司馬氏と見あげた自慢の彫り物を是非見学にお越し下さい。



木下の金屋子神社。菅谷の金屋子さんも必見です。

6月から 上着なし ノーネクタイ

6月1日から市役所も議会も上着なし、ネクタイも外すことになりました。

省エネのため、公的施設の冷房温度が28度に設定されるための対策です。国でも同じように実施されます。ご理解をお願いします。

編集後記

3号で「永井隆博士」について書かせていただいた所、たくさん情報をお寄せいただき感謝です。これから身近な話題を取り上げていきたいと思ひます。

6月議会。明るい話題が出てくることを期待して。

